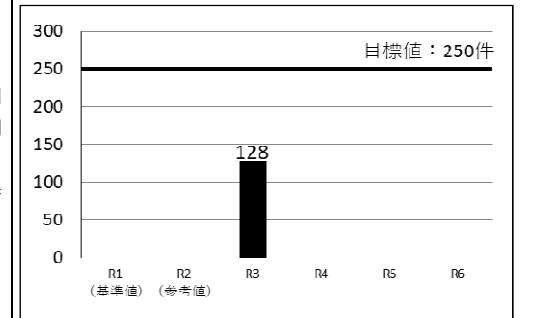
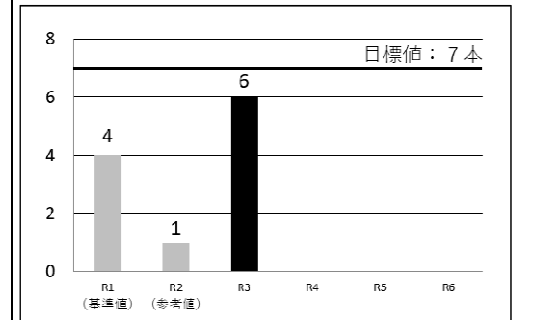


【第2期八尾市総合戦略における指標・KPI数値目標一覧】

資料2

○基本目標1 地域特性をふまえたまちづくりが進み、安全・安心に暮らせるまち

	指標・KPI	単位	基準年度	基準値	参考値	実績値	目標値	担当課	達成状況の原因分析、説明等
					R2年度	R3年度	R6年度		
基本目標指標	校区まちづくり協議会が多様な主体と連携した事業数	本	R1	4	1	6	7	コミュニティ政策推進課	目標値に向けて順調に推移しているが、今後も新型コロナウイルス感染症に対応しながらまちづくりを進めていく。 【令和3年度取り組み内容】 ①河内木綿の栽培（美園まち協と藍染保存会、八尾市観光ボランティアガイド、府立農芸高校） ②JR八尾駅広場花壇・プランター、公園等の世話（永畑まち協とNPO法人HIKARI） ③大正小学校区内のパトロール（大正まち協と八尾南産業クラブ、大正校友会） ④高安小中学校卒業生へのメッセージ（高安まち協とセレッソ大阪） ⑤まちづくり協議会の研修会（志紀まち協と日本福祉大学） ⑥産業活性化支援事業（上之島まち協とスローライフ八尾、NPO法人いさいつながる会八尾支部）
	つなげる支援室で支援調整などを行った件数	件	-	-	-	128	250	地域共生推進課	つなげる支援室では、既存の組織では対応できないような複合的な課題や制度の狭間にある課題を有する者及び世帯の相談について、支援関係機関等から相談を受け、課題の整理、支援についての助言、関係者による会議の開催等、支援の調整を行い128件の実績があったことから、今後も目標値達成に向けて各関係機関との連携、各種研修などを通じて相談支援員の相談援助技術の向上に努めるとともに、課題を抱えた方が、地域での生活を継続できるよう、地域の場づくりや参加する機会を確保する仕組み等、相談支援体制の強化に取り組む。
施策KPI	地域活動への参加状況	%	R2 (速報値)	61.9	-	59.6	69.0	コミュニティ政策推進課	令和3年度実績は、前年度対比で下降した。さらに公益的活動への参加を促す取り組みを行っていき、持続性の高い組織運営ができるように担い手の確保・育成等に関する提案や助言や情報提供の場の支援を行う必要がある。
	地区防災計画策定済み地区数	地区	-	-	0	1	28	危機管理課	地域の意向が強く反映される計画であり、取り組み内容の検討や丁寧な作り込みを進めていただいていることから、「策定済み」の段階に至るまで時間のかかる事業である。 R3年度は従前より取り組みが先行していた地区において「策定済み」となったが、今後は計画に基づく防災訓練を実施し、計画の再評価や見直しを行い、地域の防災力が向上するよう取り組みを支援する。
	大阪重点犯罪認知件数	件	R1	295	272	296	245	危機管理課	令和2年に比べ、車上ねらい件数は減少したが、その他の件数が軒並み増加しており、特に特殊詐欺の件数が約1.6倍となっている。高齢者を狙った特殊詐欺については、府全体としても令和2年より約400件以上増加し、新型コロナウイルス感染症に便乗した給付金や還付金を騙った手口が増加していることが影響していると思われる。 今後は、継続した高齢者への注意喚起及び啓発等の取り組みを実施していく。
	避難行動要支援者名簿「同意リスト」を提供した小学校区数	地区	R1	13	14	14	28	高齢介護課	令和3年度は、同意者リストのみを地域に提供するやり方を見直し、避難行動要支援者自身にも避難について考え、記入してもらう「わたしの避難計画」を同意確認書と共に送付した。令和4年度より同意者リストと合わせて「わたしの避難計画」についても地域に提供予定としている。また、土砂災害警戒区域に居住する重度の避難行動要支援者については、福祉事業者の協力を得ながら避難できるよう準備を進めてきた。これらにより、地域の支援者の負担感を軽減し、同意者リスト提供の小学校区数の増加を見込んでいく。
	「高齢者見守りサポーターやお協力事業者の登録数	事業者	R1	701	618	642	750	高齢介護課	事業者の新規登録もあれば廃止もあり、実績値が基準値から減少しているが、令和2年度よりは増加しており登録者増に向け、引き続き、府とも連携し事業周知に努める。

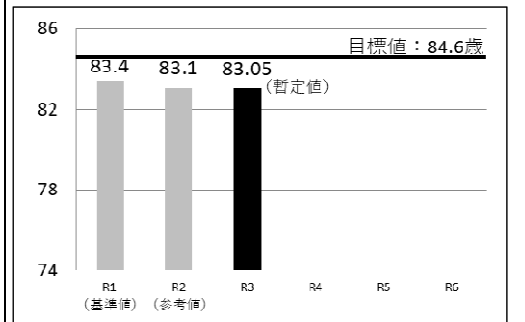
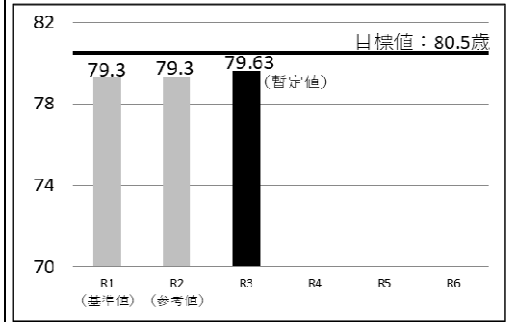


●令和3年度実績のまとめ

基本目標指標	R3年度実績値と基準値とを比較すると、「校区まちづくり協議会が多様な主体と連携した事業数」は基準値を上回った。「つなげる支援室で支援調整などを行った件数」は、R3年度から開始した取り組みで基準値との比較はできないが、目標値達成に向けて順調に推移している。
施策KPI	「地区防災計画策定済み地区数」、「避難行動要支援者名簿「同意リスト」を提供した小学校区数」は基準値より増加したが、「地域活動への参加状況」、「大阪重点犯罪認知件数」、「「高齢者見守りサポーターやお協力事業者の登録数」は基準値を下回った。
取り組み実績	施策KPI「地区防災計画策定済み地区数」は、住民が主体となって組織的に、かつ、地域ごとの特性に応じて災害に備えるために地区防災計画を策定した小学校区数をカウントする指標。本施策KPIに係る取り組みとして、地区防災計画策定の意向を示している地区に対して防災計画作成支援アドバイザーの派遣等を行い策定支援を行い、災害リスクの高い1地区で策定済となった。 施策KPI「避難行動要支援者名簿「同意リスト」を提供した小学校区数」は、市が災害時に高齢者や障がい者等自力での避難が難しいと思われる人の名簿（避難行動要支援者名簿）を作成し、災害時に取り残されないような体制づくりに取り組むために名簿の情報共有を行った校区まちづくり協議会数をカウントする指標。本施策KPIに係る取り組みとして、名簿掲載者に対する個人情報提供に関する同意確認や地域との調整を行い、災害に備えた市と地域の協働による体制整備に努めた。

○基本目標2 みんなの健康をみんなで守る健康づくりのまち

	指標・KPI	単位	基準年度	基準値	参考値	実績値	目標値	担当課	達成状況の原因分析、説明等
					R2年度	R3年度	R6年度		
基本目標指標	男性の健康寿命（前年数値）	歳	R1	79.3	79.3	<b>79.63</b> (暫定値)	80.5	保健企画課	男性の健康寿命は基準値と比較すると若干延びているものの、令和6年度の目標達成に向けて、引き続き健康づくりの推進を図る。
	女性の健康寿命（前年数値）	歳	R1	83.4	83.1	<b>83.05</b> (暫定値)	84.6	保健企画課	女性の健康寿命は基準値と比較すると微減しており、健康寿命の延伸に向けて、「健康まちづくり計画」に基づき、更なる健康づくりの推進を図る必要がある。
施策KPI	健康のために運動などを心がける市民の割合	%	R2 (速報値)	48.0	—	<b>49.1</b>	65.0	保健企画課	健康のために運動を心がける市民の割合は、令和3年度49.1%になり、前年度より増加しているが、年度によって増減が見られるため、引き続き、八尾市健康まちづくり宣言の意義を普及啓発し、市民の健康意識の向上及び地域における健康づくりの機運醸成を図る。また、地域のコミュニティ、医療機関及び関係機関・企業並びに大学・研究機関との連携、協力のもと、市民の健康や生活習慣に関する現状と課題を分析し、その解決に向けて、市民が運動をはじめとする健康づくりに主体的に取り組み、地域全体で支えていくことができるよう環境整備を推進する。
	国民健康保険加入者における特定健康診査受診率【※出納閉鎖時点】	%	R1	29.99	28.1	<b>30.0</b>	60.0	健康保険課	コロナ禍で落ち目が回復傾向がみられる。未受診者に対して電話や対象者の状況に応じた異なるデザインの通知による受診勧奨を行った。引き続き受診勧奨等の対策を積極的に進めていく。
	「かかりつけ医」を持っている市民の割合	%	R2 (速報値)	74.2	—	<b>73.3</b>	80.0	保健企画課	引き続き市政だより等で情報発信していくとともに、さまざまな機会をとらえて普及啓発に努める。

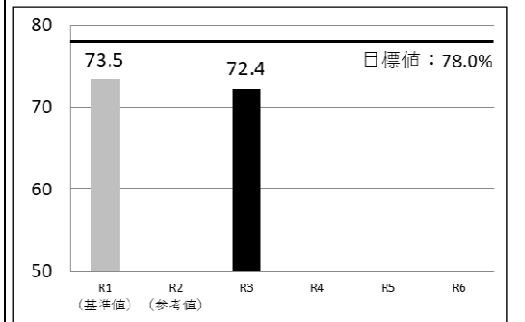
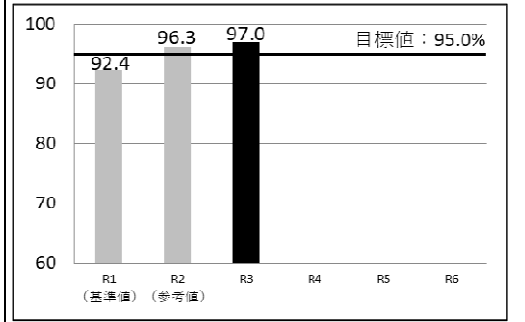


●令和3年度実績のまとめ

基本目標指標	R3年度実績値と基準値とを比較すると、「男性の健康寿命（前年数値）」は基準値を上回ったが、「女性の健康寿命（前年数値）」は基準値を下回った。
施策KPI	「健康のために運動などを心がける市民の割合」と「国民健康保険加入者における特定健康診査受診率【※出納閉鎖時点】」は基準値を上回ったが、「かかりつけ医」を持っている市民の割合」は基準値を下回った。
取り組み実績	施策KPI「健康のために運動などを心がける市民の割合」は、毎年実施している市民意識調査での「あなたは、健康のために運動を心がけるなど、自主的に何か取り組みをしていますか。」との問いに対して、「している」と回答した人の割合。本施策KPIに係る取り組みとして、新型コロナワクチンの集団接種会場で高齢者の方に、ワクチン接種後も感染症予防対策を続けてほしいことや、コロナ禍の生活の中で意識してほしいこと等を掲載したチラシを配布した。 施策KPI「国民健康保険加入者における特定健康診査受診率【※出納閉鎖時点】」は、国民健康保険加入者に対して生活習慣病予防を目的にメタボリックシンドロームの状態にあるかを検査する特定健康診査の受診率。本施策KPIに係る取り組みとして、未受診者に対して電話や対象者の状況に応じた異なるデザインの通知による受診勧奨を行った。

○基本目標3 若い世代が自分の将来を見つめ学び、ライフプランが実現できるまち

	指標・KPI	単位	基準年度	基準値	参考値	実績値	目標値	担当課	達成状況の原因分析、説明等
					R2年度	R3年度	R6年度		
基本目標 指標	認定こども園における幼児教育の取り組みに対する評価を肯定的に回答した保護者の割合	%	R1	92.4	96.3	<b>97.0</b>	95.0	こども施設運営課	園運営に概ね満足していただいている一方で、質問のうち「教育方針や子どもの様子をわかりやすく伝えている」において、他の質問に比べると、「そう思う」の回答が少なかったことから、園の教育方針や子どもの様子をよりわかりやすく伝えるように努めます。
	将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合	%	R1	73.5	—	<b>72.4</b>	78.0	学校教育推進課	将来の夢や目標は、身近な大人や社会に対する信頼感により醸成されるものであると考えられる。目標値の達成に向け、教員の指導力の向上や発達段階に応じた学習内容の工夫を図っていく。
施策 KPI	子ども・子育てに関する総合相談件数	件	R1	9,683	11,655	<b>11,687</b>	12,000	こども総合支援課	子どもと子育てに関する総合相談窓口として設置している。近年、子育てをとりまく環境や保護者の悩みは多様化傾向にあり、相談件数については増加傾向にある。
	地域子育て支援拠点における相談件数	件	R1	2,807	3,142	<b>2,702</b>	3,400	こども総合支援課	新型コロナウイルス感染対策として、人数制限をしているため、基準値と比較して件数は減少したが、保護者の不安感や悩みは多様化しており相談件数は増加傾向にある。
	教育・保育入所受入れ枠（4月1日時点）	人	R1	8,306	8,517	<b>8,725</b>	9,314	保育・こども園課	計画に沿った形で施設整備や各園協議を行い、教育・保育枠の受入れ枠の増を進めており、待機児童は継続して0である。（R3.4新設2園）
	障がい児保育（保育サポート枠）の保育施設入所児童数（4月1日時点）	人	R1	194	212	<b>212</b>	220	保育・こども園課	各園協議の中で保育サポート枠の確保はできているが、目標値に向け継続して保護者への利用案内を進めていく。
	「学校に行くのは楽しい」と答えた児童の割合（児童：小学校6年生）	%	R1	85.8	87.0	<b>85.3</b>	87.5	学校教育推進課	「学校に行くのは楽しい」と答える背景には、「勉強がよく分かる」「クラブ活動が楽しい」「友だちと一緒に遊べて楽しい」「給食がおいしい」など、様々な要因があって、それらを総合的に判断して答えたものだと考えられる。目標値の達成に向け、教員の指導力の向上や学級集団づくり等を、今後も図っていく。
	「学校に行くのは楽しい」と答えた生徒の割合（生徒：中学校3年生）	%	R1	80.5	80.1	<b>80.7</b>	87.5	学校教育推進課	
	子ども・若者の健全育成に係る事業数	件	R1	341	108	<b>128</b>	352	こども若者政策課	新型コロナウイルス感染症対策として、事業の中止や運用方法の見直しを行ったため基準値と比較して件数は減少した。
	定住を目的とした住宅の新築・購入・リフォーム等への支援数【累積】	件	R1	426	443	<b>520</b>	606	住宅政策課	木造住宅耐震改修補助制度を活用し、20人が住宅の耐震化を行った。 また、中古住宅流通促進補助及び同居支援補助を活用し、9人が住宅を取得し、又はリフォーム工事を行った。 さらに空家の相続やリフォームなど空家の管理・活用に関するセミナーを実施し、48人の参加者があった。 令和3年度は合計77人に対して支援を実施した。

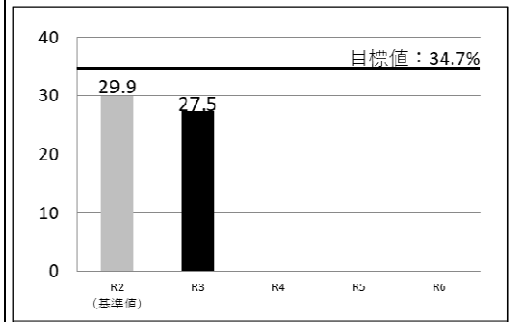
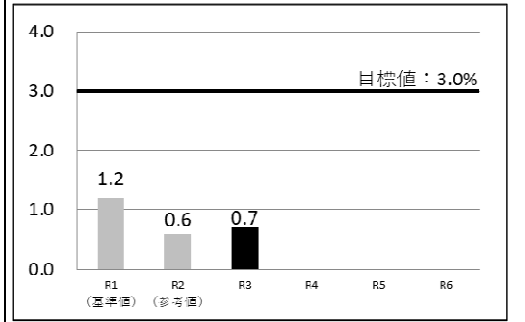


●令和3年度実績のまとめ

基本目標指標	R3年度実績値と基準値とを比較すると、「認定こども園における幼児教育の取り組みに対する評価を肯定的に回答した保護者の割合」は上回ったが、「将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合」は下回った。
施策KPI	施策KPIのうち、基準値を上回ったのが「子ども・子育てに関する総合相談件数」、「教育・保育入所受入れ枠（4月1日時点）」、「障がい児保育（保育サポート枠）の保育施設入所児童数（4月1日時点）」、「「学校に行くのは楽しい」と答えた生徒の割合（生徒：中学校3年生）」、「定住を目的とした住宅の新築・購入・リフォーム等への支援数」、基準値を下回ったのが「地域子育て支援拠点における相談件数」、「「学校に行くのは楽しい」と答えた児童の割合（児童：小学校6年生）」、「子ども・若者の健全育成に係る事業数」となった。
取り組み実績	施策KPI「子ども・子育てに関する総合相談件数」は、子育て総合支援ネットワークセンター「みらい」での総合相談件数をカウントする指標。本施策KPIに係る取り組みとして、令和4年度のこども総合支援センターの開所に向け、子育て総合支援ネットワークセンターの人員体制を段階的に整備し、子育て相談・発達相談機能の拡充に取り組んだ。施策KPI「教育・保育入所受入れ枠（4月1日時点）」は、八尾市子ども・子育て支援事業計画で定める認定こども園等の入所受け入れ枠をカウントする指標。本施策KPIに係る取り組みとして、認定こども園等の施設整備や各園協議を行い保育枠拡大に取り組んだ。

○基本目標4 誰もが自分の持つ能力や経験を活かし、地域や職場で活躍できるまち

	指標・KPI	単位	基準年度	基準値	参考値	実績値	目標値	担当課	達成状況の原因分析、説明等
					R2年度	R3年度	R6年度		
基本目標 指標	住民主体活動に参加している在宅高齢者の割合	%	R1	1.2	0.6	<b>0.7</b>	3.0	高齢介護課	コロナ禍の状況で住民主体の通いの場に参加を控える利用者や活動が休止となる団体があった。今後も、高齢者のフレイル予防の観点からも住民主体活動の継続及び立ち上げ支援の取り組みを進めていく。
	男女共同参画が実現していると思う市民の割合	%	R2 (速報値)	29.9	-	<b>27.5</b>	34.7	人権政策課	イベントや相談会等を実施し、男女共同参画社会の実現をめざしているが、基準値を下回った。
施策 KPI	シルバーリーダー養成講座修了者数	人	R1	43	0	<b>26</b>	80	高齢介護課	コロナ禍の状況で十分な周知ができず、修了者数が減少しているが、多くの高齢者に興味をもってもらえるよう講座内容のリニューアルなどをしており、引き続き、効果的な周知に努め、地域で活躍できる人材の育成に向けて取り組んでいく。
	外国人相談窓口における相談件数	件	R1	1,134	2,314	<b>2,576</b>	1,500	人権政策課	ワクチン接種や発生時の対応等、新型コロナウイルス感染症関連の問合せが増加の要因となっている。
	市の審議会、委員会などにおける女性委員の登用の割合（年度末時点）	%	R1	33.0	32.9	<b>34.5</b>	39.0	人権政策課	審議会等への女性委員の登用に関するポジティブ・アクションプランを策定し、積極的に女性委員の登用を推奨している。
	生涯学習施設で実施する講座等の参加者数	人	R1	92,995	18,670	<b>33,262</b>	111,000	生涯学習課	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施回数が減ったものの、生涯学習活動を推進するための取り組みとして、各講座を実施した。

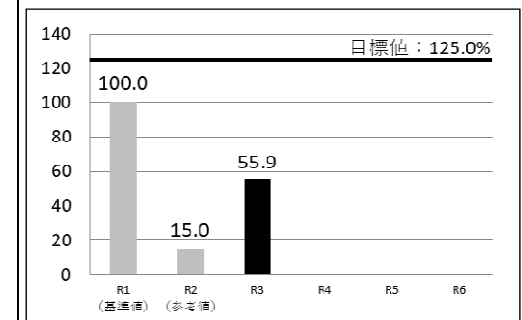
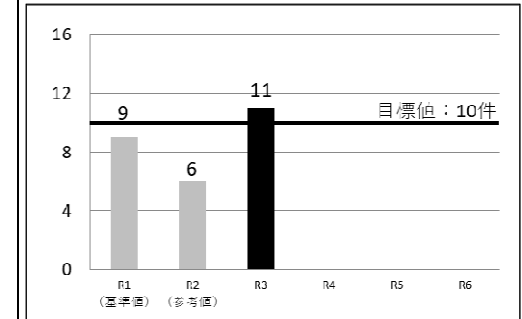


●令和3年度実績のまとめ

基本目標指標	R3年度実績値と基準値とを比較すると、両指標とも実績値が基準値を下回った。
施策KPI	「外国人相談窓口における相談件数」は目標値を達成した。「市の審議会、委員会などにおける女性委員の登用の割合（年度末時点）」は基準値を上回ったが、「シルバーリーダー養成講座修了者数」と「生涯学習施設で実施する講座等の参加者数」は基準値を下回った。
取り組み実績	施策KPI「外国人相談窓口における相談件数」は、八尾市が開設する外国人相談窓口での相談件数をカウントする指標。本施策KPIに係る取り組みとして、外国人相談窓口では、新型コロナウイルス感染症関連の問い合わせに対し、保健所や新型コロナワクチン接種担当部署と連携して相談対応を行った。 施策KPI「市の審議会、委員会などにおける女性委員の登用の割合（年度末時点）」は、八尾市が設置している審議会、委員会などにおける女性委員数の割合。本施策KPIに係る取り組みとして、審議会等への女性委員の登用に関するポジティブ・アクションプランの改定や管理職への男女共同参画研修を実施し、男女共同参画に関する理解と認識を深めた。

○基本目標5 経済成長を推進する、未来志向の産業振興をめざすまち

	指標・KPI	単位	基準年度	基準値	参考値	実績値	目標値	担当課	達成状況の原因分析、説明等
					R2年度	R3年度	R6年度		
基本目標 指標	立地制度活用による工場立地件数	件	R1	9	6	<b>11</b>	10	産業政策課	本制度について、関係課と連携を取りながら対象者に対して周知したことが奏功し、件数が増加した。
	産業分野にかかわる関係人口の対基準年度比率	%	R1	100.0	15.0	<b>55.9</b>	125.0	産業政策課	新型コロナウイルスの影響によるイベントの中止、縮小等により実績値が伸びなかった。
施策 KPI	地域就労支援センターにおける相談者の雇用達成の割合	%	R1	44.1	35.9	<b>26.9</b>	40.0	労働支援課	新型コロナウイルス感染症の影響や原材料の高騰等により厳しい雇用情勢が状況が続いているため、実績値は減少している。求職者が就職に結びつくようにきめ細かな職業紹介を行うことにより就職件数の増加をめざす。
	中小企業におけるイノベーション実践数	事業	R1	55	113	<b>689</b>	63	産業政策課	新型コロナウイルス感染症に係る緊急対策として、意欲ある事業者経営・技術支援補助金の補助メニューを大幅に拡充したため、実績値が増加した。
	八尾市立中小企業サポートセンター相談件数	件	R1	1,248	1,149	<b>1,217</b>	1,300	産業政策課	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言等の影響により企業活動が縮小したことから、相談件数が減少した。
	次世代企業家育成において市内企業がメンター役を担う割合	%	-	-	21.0	<b>60.9</b>	50.0	産業政策課	創業支援事業などを中心に市内事業者積極的に参画していただき、目標値を上回った。



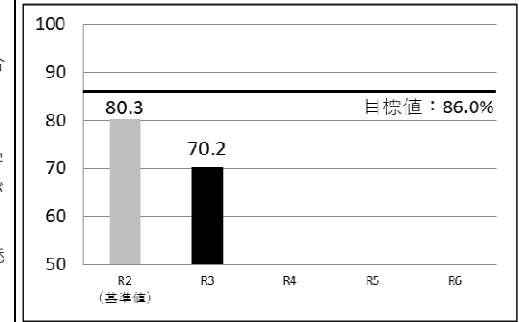
●令和3年度実績のまとめ

基本目標指標	R3年度実績値と基準値とを比較すると、「立地制度活用による工場立地件数」は基準値を上回ったが、「産業分野にかかわる関係人口の対基準年度比率」は新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント中止により基準値を下回った。
施策KPI	「中小企業におけるイノベーション実践数」は基準値を上回ったが、「地域就労支援センターにおける相談者の雇用達成の割合」と「八尾市立中小企業サポートセンター相談件数」は基準値を下回った。「次世代企業家育成において市内企業がメンター役を担う割合」は目標値を上回った。
取り組み実績	施策KPI「中小企業におけるイノベーション実践数」は、八尾市内の中小企業の新事業に挑戦するプロジェクト数として、環山楼塾、あきんど起業塾、デザインイノベーション等におけるビジネスプラン数並びに意欲ある補助金の申請件数をカウントする指標。本施策KPIに係る取り組みとして、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が国から交付されたことを受け、意欲ある事業者経営・技術支援補助金を大幅に拡充して事業者支援を実施したことにより、R3実績値は大幅増となった。新製品の開発、新分野進出、DXやIT化推進等といった支援を実施。 施策KPI「次世代企業家育成において市内企業がメンター役を担う割合」は、企業家を育成するセミナーとなる環山楼塾、あきんど起業塾、ゆるっとカフェ及びものづくりカレッジ並びに産業連携事業として開催する学ぶ場八尾の登壇者のうちの市内企業家の割合。R3年度実績値はR6数値目標としていた50%を超え60.9%となっている。市内の先輩企業家達が機会があれば講師として登壇し次世代企業家を育成し、その企業家が先輩企業家として次世代育成に寄与するという、地域内で循環するメンタリング制度が確立されてきている。



○基本目標6 行ってみたい、関わってみたい、住みつづけたい、魅力があふれるまち

指標・KPI	単位	基準年度	基準値	参考値	実績値	目標値	担当課	達成状況の原因分析、説明等	
				R2年度	R3年度	R6年度			
基本目標指標 住み続けたいと感じる市民の割合	%	R2 (速報値)	80.3	-	<b>70.2</b>	86.0	政策推進課	R3年度とR2年度の市民意識調査における定住意向に関する結果を比較すると、R3年度は「わからない」を選択した人の割合が大幅に増えたことにより相対的に定住意向の割合が減る一方、「いずれ市外に引っ越したい」を選択した人の割合も減った。 また、若者世代の定住意向について、定住意向を示した人の割合は20~29歳では46.6%、30~39歳では56.7%であり、若者世代の定住意向が他の世代と比較して低い傾向にある。八尾市外へ引っ越したい理由として20~29歳では「通勤・通学に便利な環境を求めて」、30~39歳では「まちなみの景観や自然、静けさや治安などの住環境を求めて」を選択した人が最も多くなっている。 以上のことから、特に若者世代の定住意向を高めるには、職住近在のまちづくりや自然や歴史文化の豊かさを味わえる魅力的な住環境の整備に係る取り組みをさらに進めていく必要がある。	
施策KPI	適切な土地利用が図られ、暮らしやすいまちになったと感じる市民の割合	%	R2 (速報値)	38.9	-	<b>36.8</b>	40.0	都市政策課	指標はR3年度市民意識調査の設問「都市部ではそれぞれの地域特性に応じた住宅、工業、商店が立地し、郊外部では市街化が抑制され、自然環境の保全が図られていると思いますか」を活用しており、実績値は「思う」「少し思う」の合計36.8%となっている。また「わからない」「無回答」の合計23.3%を除くと「あまり思わない」「思わない」は39.9%となっている。 以上のことから、否定的に感じられている市民の割合が4割弱あるため、更に地域特性に応じた適切な土地利用が図られるよう都市計画手法の調査・検討に取り組む必要がある。
	都市計画道路の整備率	%	R1	55.2	55.4	<b>55.5</b>	56.2	都市基盤整備課	都市計画道路 J R八尾駅前線や、久宝寺線の整備を実施した。
	コト体験型ツアーの参加者の満足度	%	-	-	-	<b>97.8</b>	88.0	観光・文化財課	新型コロナによる緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の中、12事業を実施し、延べ153名の参加者となった。高い満足度を得た要因として、様々なジャンルでの非日常体験ができるプログラムを実施したことが挙げられる。今後においても、プログラム数の増加を図り、高い満足度を維持していく。
	Instagramフォロワー数	人	R1	655	1,504	<b>1,985</b>	4,000	やおプロモーション・万博推進プロジェクト	適宜、有効な手法を検討実施していくことでフォロワー数は日々増加しているが、13~24歳が5.1%、25~34歳が21.2%となっており、若者への認知度向上やターゲットと手法のマッチングが課題。



●令和3年度実績のまとめ

基本目標指標	R3年度実績値は基準値を下回った。「八尾市に住み続けたいか」との問いに対して「わからない」を選択した人の割合が大幅に増えたことにより相対的に定住意向の割合が減る一方、「いずれ市外に引っ越したい」を選択した人の割合も減った。
施策KPI	「都市計画道路の整備率」と「Instagramフォロワー数」は基準値を上回ったが、「適切な土地利用が図られ、暮らしやすいまちになったと感じる市民の割合」は基準値を下回った。「コト体験型ツアーの参加者の満足度」は目標値を上回った。
取り組み実績	施策KPI「都市計画道路の整備率」は、都市計画道路整備の進捗率を示す指標。本施策KPIに係る取り組みとして、J R八尾駅前線の用地買収や久宝寺線の文化財発掘調査等を進めた。 施策KPI「Instagramフォロワー数」は、Instagramの八尾市公式アカウントにおけるフォロワー数をカウントする指標。本施策KPIに係る取り組みとして、Instagramで八尾のことを発信しているユーザーに本市公式Instagramの存在を周知すること等でフォロワー数の増加に努めた。